

**「学生と授業改善について考えるアンケート」  
報告書**

**2016 年度**

**日本女子大学**

# 目 次

I. 学部FD委員会より	1
II. 実施概要	2
(1) 実施要綱	
(2) 質問項目	
(3) 実施科目	
(4) 実施方法・実施期間	
(5) 授業アンケートのフィードバック	
III. 集計結果（2016年度前期）	6
2016年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）	
IV. 集計結果（2016年度後期）	8
2016年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果（全体）	

## I. 学部 FD 委員会より

本報告書は、2016 年度に実施した「学生と授業改善について考えるアンケート」の集計結果の資料である。学部 FD 委員会の検討により、アンケートの抜本的な改革が行われ、前回から実施対象科目を基盤教育の科目群(A科目群)と専門教育の科目群(B科目群)に分けて隔年で実施している。2016年度は、専門教育の科目群(B科目群)を対象にアンケートを行なった。

アンケートの集計方法は、前年度との継続性を保つため、2016 年度も JASMINE-Navi のアンケート機能を使用する方法を踏襲した。学生はスマートフォン、タブレット、パソコン等でアクセスして、無記名で回答を行なっている。集計の電子化により、集計処理の大幅な効率化が図られた。

科目区分毎にまとめられた集計結果は、組織的な有効活用を進めるため、当該の授業を管轄する委員会に通知することとした。当該の授業を管轄する委員会はその集計結果を受け、所見を学部 FD 委員会へ返すというフィードバックを行なった。

アンケート名称に明記されているように、「学生と授業改善について考える」アンケートであり、学生と教員がともに授業を振り返り協働しながら、授業改善について考えるアンケートである。今回は後期授業アンケート結果公表時にアンケート結果に対する「学生へのコメント」の提出依頼書を教員へ配布した。その効果もあり、教員からのコメント数が前期に比べ後期に増えている。学生へのフィードバック意識が教員の間になんげつ芽生え始めていることに期待し、学生へのコメント数がさらに増加することを望みたい。

アンケートの回答率については、前期が 36.4%、後期が 31.0%となった。JASMINE-Navi のアンケート機能を使用することで、集計処理が格段に効率化された反面、回答率が大幅に落ち込む結果となった。JASMINE-Navi を使用したシステムは、授業時間内だけでなく、授業時間外でもアンケートの回答が可能であり、さらに回答した内容の確認や修正も可能という利便性に優れたものである。しかしながら、これまで実施してきたペーパーアンケートのように授業時間内に確実に回答してもらい回収することが、かえって難しいということが露呈した。アンケート回答期限の延長や学生へのアナウンス等の対処を今回行ってみたが、今後、運用方法をさまざまな面から工夫検討することによって徐々に回答率を上げていきたい。

2017 年度学部 FD 委員会

委員長 和田 直人

## II. 実施概要

### (1) 実施要綱

2016（平成28）年度「学生と授業改善について考えるアンケート」実施要綱

2016（平成28）年2月 学部FD委員会

#### 1. 趣旨・目的

日本女子大学学則第2条に規定する自己点検・評価の一環として「学生と授業改善について考えるアンケート」（以下「授業アンケート」という。）を実施する。

授業内容、教員と学生双方の授業姿勢・意識並びに取り組み、学生の授業に対する達成度・満足度について、履修した学生の意見を広く聴取し、その結果を、授業改善に生かすこと、およびディプロマ・ポリシーとカリキュラム・ポリシーの検証に資することを目的とする。

#### 2. 対象科目

学部FD委員会標準科目として、以下のとおりA科目群とB科目群を定め、年度交代で実施する。

2015（平成27）年度実施がA科目群のため、2016（平成28）年度対象科目はB科目群とする。ただし、集中授業を除く。

##### 【A科目群（基盤教育）】

家政・文・理学部：基礎科目(外国語・情報処理・身体運動)、教養科目、家政学部共通科目、キャリア形成科目※  
人間社会学部：学科教育科目の基本科目（外国語科目を含む）および展開科目、キャリア形成科目※

##### 【B科目群（専門教育）】

家政・文・理学部：学科科目、キャリア形成科目※、教職に関する科目※、司書及び司書教諭に関する科目※、博物館に関する科目※、日本語教員養成講座に関する科目※  
人間社会学部：学科教育科目の学科専門科目、キャリア形成科目※、教職に関する科目※、司書及び司書教諭に関する科目※、博物館に関する科目※、日本語教員養成講座に関する科目※

なお、A・B両科目群にまたがる科目は、毎年度実施する。また、授業を管轄する委員会または授業担当者から実施依頼があった場合、毎年実施することができる。

※管轄委員会の依頼により、キャリア形成科目は毎年度、資格関係科目は隔年で対象科目とする。

#### 3. 実施時期

試験期間を除く学期末の3週間をあてる。2016（平成28）年度は以下のとおりとする。

【前期】2016（平成28）年7月8日（金）～7月28日（木）

【後期】2016（平成28）年12月16日（金）～2017（平成29）年1月19日（木）

なお、通年科目は後期に実施する。

#### 4. 実施方法、結果の参照

JASMINE-Navi の「授業アンケート」機能を使用して実施する。学生はスマートフォン、タブレット、パソコン等でアクセスし、無記名で回答する（システム上、回答者は特定されない）。

回答率を上げるため、授業時間内に実施することが望ましい(所要時間は説明を含め10分程度)。

科目個別の結果は、担当教員のみが特定の期間内に JASMINE-Navi にアクセスして参照することができる。また、結果について学生へ「教員のコメント」をフィードバックすることができる。

#### 5. 質問項目については、共通質問事項に追加して個別質問を設けることができる。

#### 6. 学生への趣旨・実施期間・実施方法などの周知は、掲示（電子掲示板、JASMINE-Navi の掲示情報）等により行う。また、科目による実施の有無については、担当教員から学生に通知する。

#### 7. 集計結果を以下のとおり扱い、組織的に有効活用する。

##### 【委員会へのフィードバック】

授業科目の区分ごとに集計結果を作成して、当該の授業を管轄する委員会に通知する。委員会は、それを受けて、学部FD委員会へ所見を返すこととする。

##### 【報告書】

集計結果については報告書を作成する。結果についての担当教員のコメントおよび授業を管轄する委員会から学部FD委員会への所見は、学内に公表する。担当教員のコメントは、学生に JASMINE-Navi で公表する。

なお、授業アンケートの結果は目的以外には使用しない。個々の科目の結果を知り得る学部FD委員会および事務担当部署には守秘義務が課せられる。

#### 8. 2016（平成28）年度実施の検証を受け、2017（平成29）年度以降、継続性を保つため、原則として同じ方法で実施する。

以上

## (2) 質問項目

### 2016前期)学生と授業改善について考えるアンケート

このアンケートは、学生と教員が協働してよりよい授業づくりを進めていくために、皆さんの声をお聞きしたいということを目的としておこないます。

#### ■学科を選択してください。

- 児童     食物(食専)    食物(管理)    住居(全学生)    被服    家政経済    日本文    英文  
 史学     現代社会    社会福祉    教育             心理    文化     数理科    物質生物科  
 上記以外

#### ■学年を選択してください。

(※科目等履修生などで学年がわからない場合は未記入でも可)

- 1    2    3    4

#### I. 授業内容について

1. シラバス(講義概要)は受講に役立った。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

2. 各回の授業のねらいは明確であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

3. 授業の内容は分かりやすかった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

4. 各回の授業内容の量が適切であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

5. 授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

#### II. 教員の授業に対する姿勢・取り組みについて

1. 教員の授業に対する準備は適切であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

2. 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

#### III. あなた自身の授業に対する意識・取り組みについて

1. 授業中の静粛性を保てるよう努力した。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

3. この授業の今までの欠席回数

- 0回    1回    2回    3回    4回以上

4. この授業の予習復習等、授業以外での学習に当てた時間(毎週の平均)。

- 4時間以上    3~4時間未満    2~3時間未満    1~2時間未満    1時間未満

5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

6. 学問的興味をかきたてられた。

- 大いにそう思う    そう思う    どちらともいえない    あまりそう思わない    そう思わない    該当しない

7. この授業に対する達成度を示してください。

- 達成した    やや達成した    ふつう    あまり達成していない    達成していない

8. この授業に対する満足度を示してください。

- 満足    やや満足    ふつう    やや不満    不満

#### IV. 個別質問項目

※授業担当者より指示があった場合のみご回答ください。  
各設問の内容は、授業担当者からの指示に従ってください。

##### 〈A〉 授業担当者個別

個別質問項目A-1

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目A-2

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目A-3

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目A-4

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目A-5

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

##### 〈B〉 授業科目区分共通

個別質問項目B-1

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-2

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-3

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-4

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-5

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-6

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-7

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

個別質問項目B-8

大いにそう思う  そう思う  どちらともいえない  あまりそう思わない  そう思わない

#### V. 自由記述

授業について良かった点や改善してほしい点等を自由に書いてください。

(最大400文字)

ご協力ありがとうございました。

回答

※後期…JASMINE-Navi「授業アンケート」機能を使用し、前期と同様の質問項目にて実施した。

(3) 実施科目

授業科目の区分 (地区)	2016 前期実施		2016 後期実施	
	実施科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数	実施科目数 (専任・非常勤等)	有効回答数
学科科目 (目白地区)	568 (394・174)	8,014	640 (444・196)	6,485
学科専門科目 (西生田地区)	169 (95・74)	3,216	266 (184・82)	3,216
キャリア形成科目 (両地区)	8 (1・7)	88	6 (0・6)	133
現代女性とキャリア連携専攻コア科目 (目白地区)	3 (0・3)	131	3 (0・3)	141
教職に関する科目 (両地区)	33 (15・18)	559	44 (20・24)	470
司書及び司書教諭に関する科目 (両地区)	15 (6・9)	426	17 (3・14)	341
博物館に関する科目 (両地区)	7 (3・4)	94	12 (3・9)	124
日本語教員養成講座に関する科目 (両地区)	9 (5・4)	63	6 (4・2)	60
計	812 (519・293)	12,591	994 (658・336)	10,970
		前期回答率→ 36.4%		後期回答率→ 31.0%

(4) 実施方法・実施期間

JASMINE-Navi の「授業アンケート」機能により実施

前期 2016年 7月 8日 (金) ～ 7月 28日 (木)

後期 2016年 12月 16日 (金) ～2017年 1月 22日 (日) ※学生の回答期間を3日間延長

(5) 授業アンケートのフィードバック

個別結果…授業担当者が JASMINE-Navi にて参照する。結果に対して、授業担当者は学生へのコメントを公表することが可能。

授業科目区分別の結果…当該の授業を管轄する委員会に通知する。各委員会は学部FD委員会へ所見を返す。

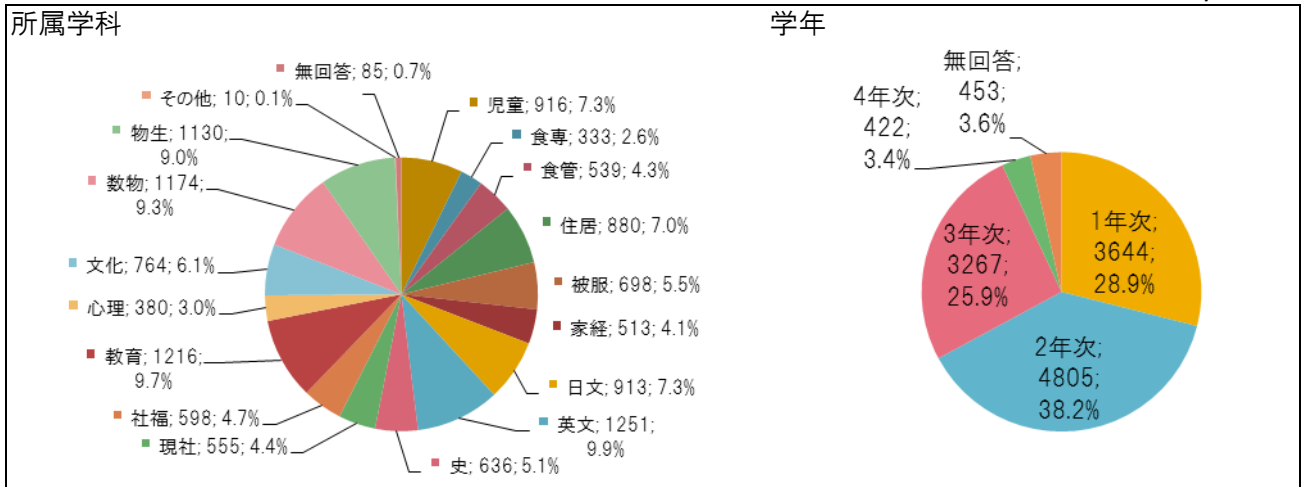
集計結果・学生へのコメント…学生向け掲示 (JASMINE-Navi) にて公表。

報告書…大学HP、教職員のページにて公表。

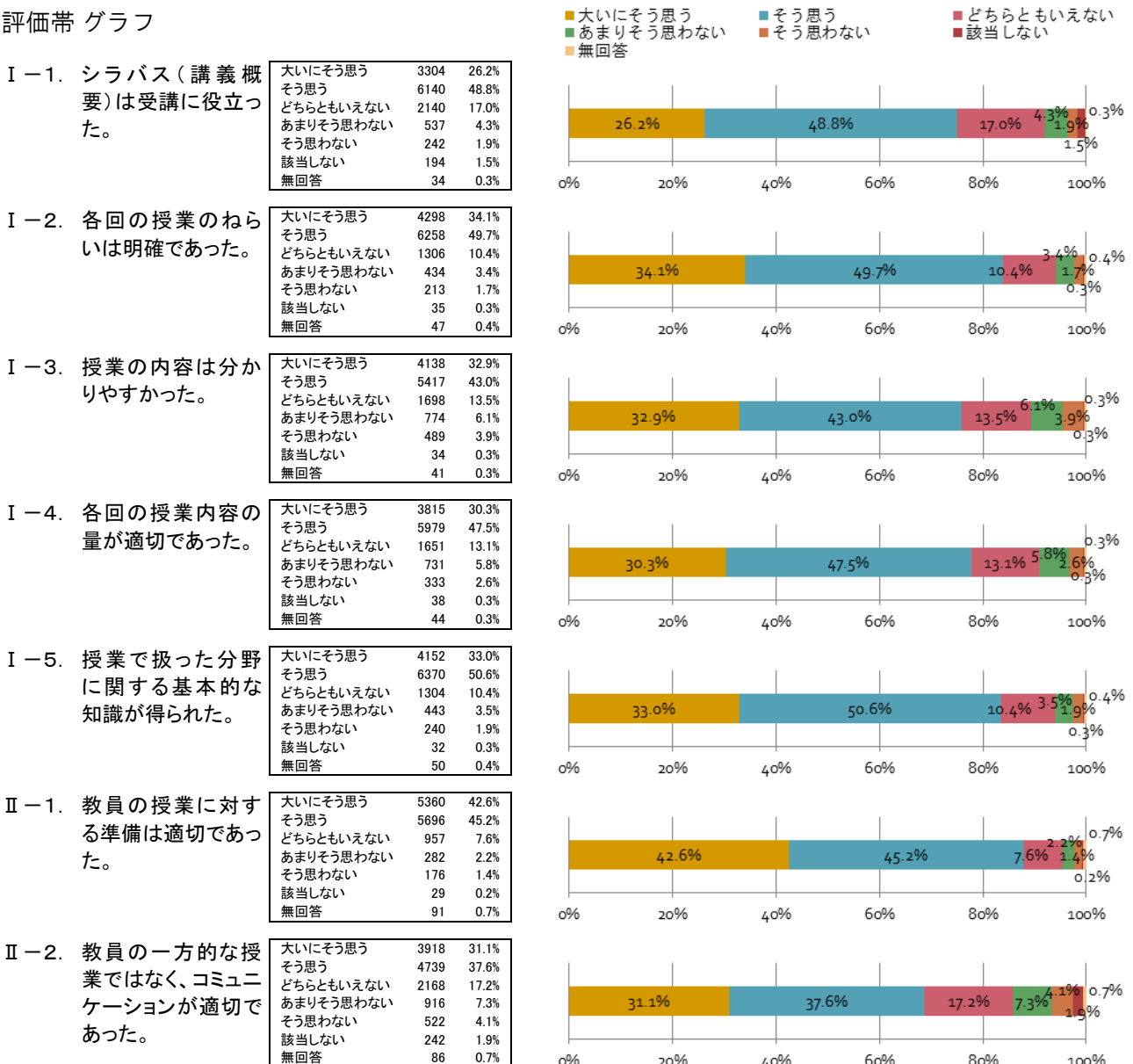
### Ⅲ. 集計結果 (2016 年度前期)

2016 年度前期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果 (全体)

有効回答数 12,591



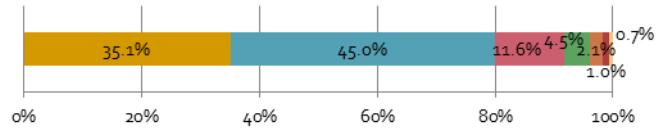
#### 評価帯 グラフ





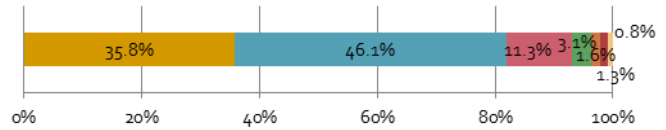
II-3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった。

大いにそう思う	4420	35.1%
そう思う	5665	45.0%
どちらともいえない	1459	11.6%
あまりそう思わない	564	4.5%
そう思わない	265	2.1%
該当しない	132	1.0%
無回答	86	0.7%



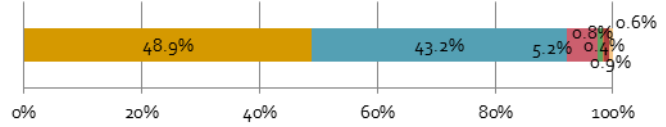
II-4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。

大いにそう思う	4503	35.8%
そう思う	5805	46.1%
どちらともいえない	1418	11.3%
あまりそう思わない	392	3.1%
そう思わない	203	1.6%
該当しない	163	1.3%
無回答	107	0.8%



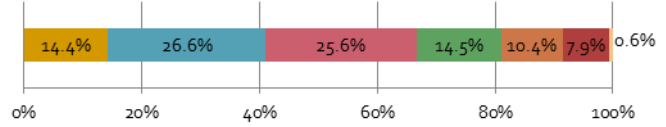
III-1. 授業中の静粛性を保てるよう努力した。

大いにそう思う	6163	48.9%
そう思う	5439	43.2%
どちらともいえない	660	5.2%
あまりそう思わない	103	0.8%
そう思わない	45	0.4%
該当しない	109	0.9%
無回答	72	0.6%



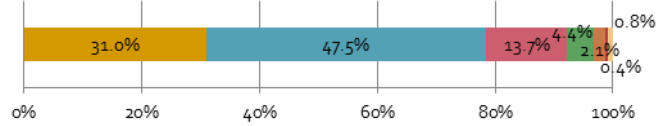
III-2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。

大いにそう思う	1807	14.4%
そう思う	3352	26.6%
どちらともいえない	3229	25.6%
あまりそう思わない	1825	14.5%
そう思わない	1311	10.4%
該当しない	993	7.9%
無回答	74	0.6%



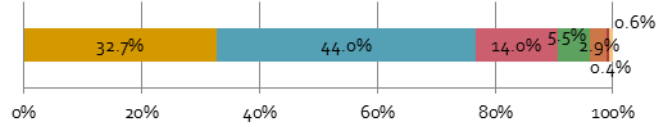
III-5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。

大いにそう思う	3898	31.0%
そう思う	5987	47.5%
どちらともいえない	1729	13.7%
あまりそう思わない	557	4.4%
そう思わない	268	2.1%
該当しない	49	0.4%
無回答	103	0.8%



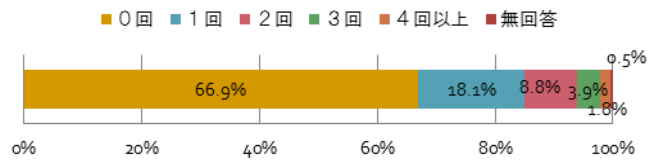
III-6. 学問的興味をかきたてられた。

大いにそう思う	4113	32.7%
そう思う	5545	44.0%
どちらともいえない	1762	14.0%
あまりそう思わない	687	5.5%
そう思わない	360	2.9%
該当しない	47	0.4%
無回答	77	0.6%



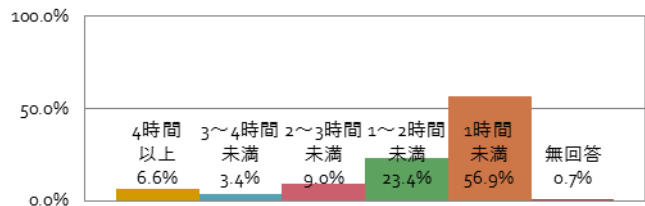
III-3. この授業の今までの欠席回数

0回	8425	66.9%
1回	2285	18.1%
2回	1109	8.8%
3回	488	3.9%
4回以上	221	1.8%
無回答	63	0.5%



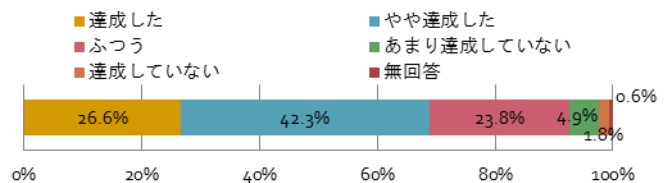
III-4. この授業の予習復習等、授業以外での学習に当てた時間(毎週の平均)。

4時間以上	832	6.6%
3~4時間未満	429	3.4%
2~3時間未満	1134	9.0%
1~2時間未満	2940	23.4%
1時間未満	7170	56.9%
無回答	86	0.7%



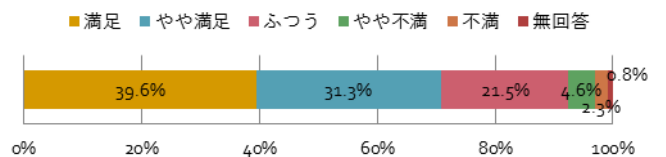
III-7. この授業に対する達成度を示してください。

達成した	3344	26.6%
やや達成した	5328	42.3%
ふつう	2997	23.8%
あまり達成していない	621	4.9%
達成していない	230	1.8%
無回答	71	0.6%



III-8. この授業に対する満足度を示してください。

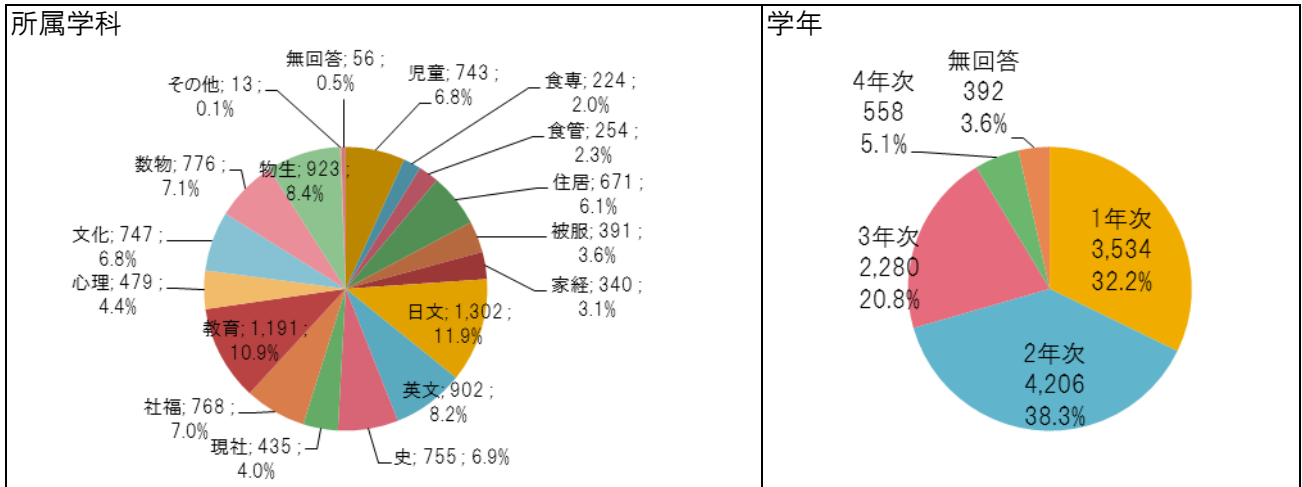
満足	4984	39.6%
やや満足	3939	31.3%
ふつう	2703	21.5%
やや不満	576	4.6%
不満	292	2.3%
無回答	97	0.8%



# IV. 集計結果 (2016 年度後期)

2016 年度後期「学生と授業改善について考えるアンケート」集計結果 (全体)

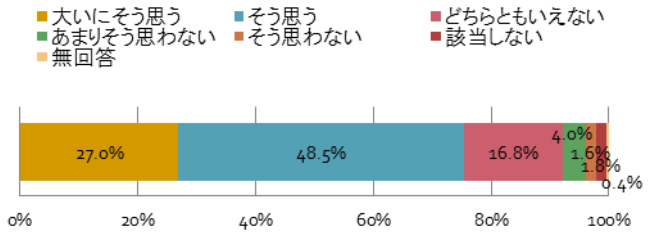
有効回答数 10,970



## 評価帯グラフ

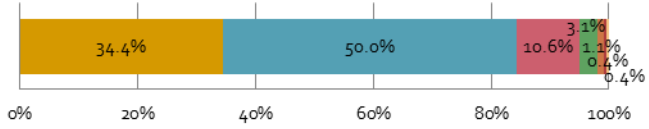
I-1. シラバス(講義概要)は受講に役立った。

大いにそう思う	2,957	27.0%
そう思う	5,324	48.5%
どちらともいえない	1,839	16.8%
あまりそう思わない	436	4.0%
そう思わない	172	1.6%
該当しない	199	1.8%
無回答	43	0.4%



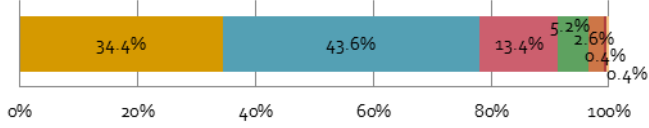
I-2. 各回の授業のねらいは明確であった。

大いにそう思う	3,779	34.4%
そう思う	5,486	50.0%
どちらともいえない	1,158	10.6%
あまりそう思わない	338	3.1%
そう思わない	121	1.1%
該当しない	46	0.4%
無回答	42	0.4%



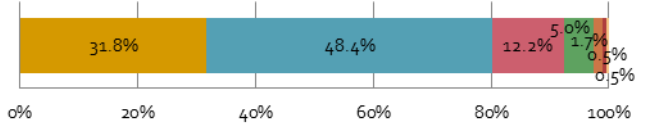
I-3. 授業の内容は分かりやすかった。

大いにそう思う	3,769	34.4%
そう思う	4,783	43.6%
どちらともいえない	1,465	13.4%
あまりそう思わない	568	5.2%
そう思わない	289	2.6%
該当しない	49	0.4%
無回答	47	0.4%



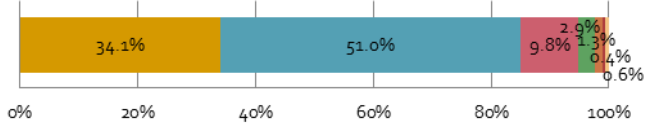
I-4. 各回の授業内容の量が適切であった。

大いにそう思う	3,492	31.8%
そう思う	5,304	48.4%
どちらともいえない	1,334	12.2%
あまりそう思わない	552	5.0%
そう思わない	185	1.7%
該当しない	50	0.5%
無回答	53	0.5%



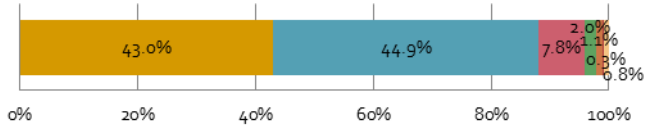
I-5. 授業で扱った分野に関する基本的な知識が得られた。

大いにそう思う	3,740	34.1%
そう思う	5,593	51.0%
どちらともいえない	1,070	9.8%
あまりそう思わない	315	2.9%
そう思わない	147	1.3%
該当しない	39	0.4%
無回答	66	0.6%



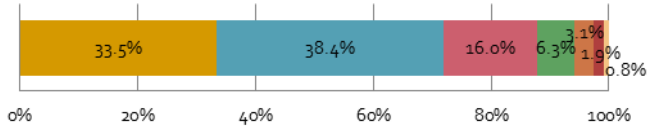
II-1. 教員の授業に対する準備は適切であった。

大いにそう思う	4,722	43.0%
そう思う	4,926	44.9%
どちらともいえない	860	7.8%
あまりそう思わない	217	2.0%
そう思わない	119	1.1%
該当しない	33	0.3%
無回答	93	0.8%



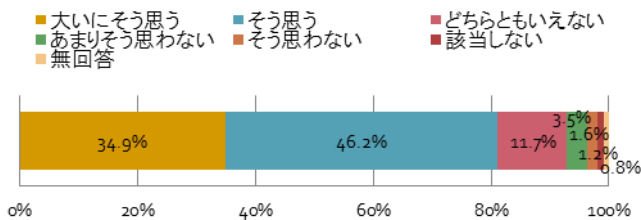
II-2. 教員の一方的な授業ではなく、コミュニケーションが適切であった。

大いにそう思う	3,674	33.5%
そう思う	4,216	38.4%
どちらともいえない	1,759	16.0%
あまりそう思わない	687	6.3%
そう思わない	338	3.1%
該当しない	205	1.9%
無回答	91	0.8%



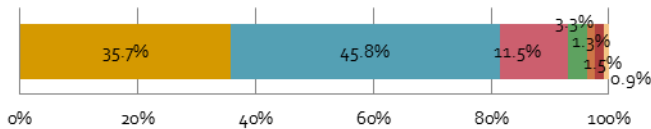
II-3. 板書・パワーポイント・教科書・授業レジュメプリントや参考文献が適切であった

大いに思う	3,831	34.9%
思う	5,064	46.2%
どちらともいえない	1,286	11.7%
あまりそう思わない	389	3.5%
そう思わない	179	1.6%
該当しない	130	1.2%
無回答	91	0.8%



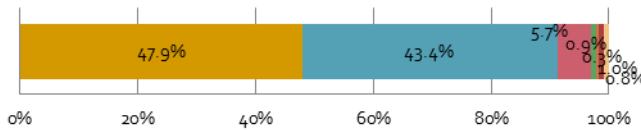
II-4. 教員による静寂な環境への取り組みは適切であった。

大いに思う	3,915	35.7%
思う	5,023	45.8%
どちらともいえない	1,259	11.5%
あまりそう思わない	360	3.3%
そう思わない	146	1.3%
該当しない	167	1.5%
無回答	100	0.9%



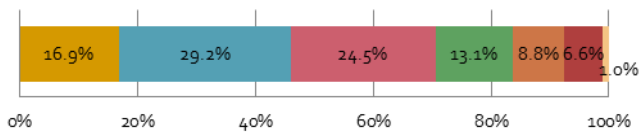
III-1. 授業中の静粛性を保てるよう努力した。

大いに思う	5,255	47.9%
思う	4,763	43.4%
どちらともいえない	627	5.7%
あまりそう思わない	97	0.9%
そう思わない	29	0.3%
該当しない	114	1.0%
無回答	85	0.8%



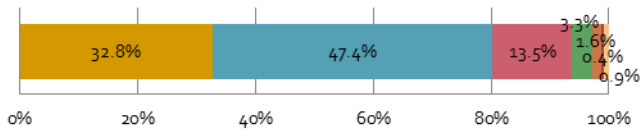
III-2. この授業で積極的に意見や質問を述べた。

大いに思う	1,852	16.9%
思う	3,198	29.2%
どちらともいえない	2,687	24.5%
あまりそう思わない	1,436	13.1%
そう思わない	966	8.8%
該当しない	723	6.6%
無回答	108	1.0%



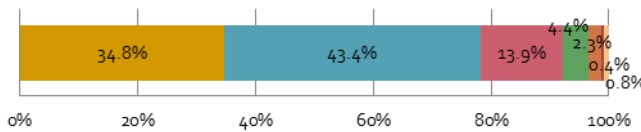
III-5. 自分にとって新しい考え方・発想がえられた。

大いに思う	3,603	32.8%
思う	5,198	47.4%
どちらともいえない	1,482	13.5%
あまりそう思わない	362	3.3%
そう思わない	179	1.6%
該当しない	46	0.4%
無回答	100	0.9%



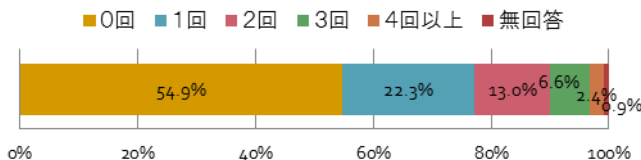
III-6. 学問的興味をかきたてられた。

大いに思う	3,822	34.8%
思う	4,759	43.4%
どちらともいえない	1,526	13.9%
あまりそう思わない	483	4.4%
そう思わない	249	2.3%
該当しない	44	0.4%
無回答	87	0.8%



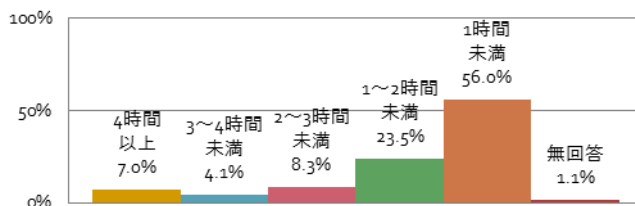
III-3. この授業の今までの欠席回数

0回	6,021	54.9%
1回	2,443	22.3%
2回	1,425	13.0%
3回	720	6.6%
4回以上	258	2.4%
無回答	103	0.9%



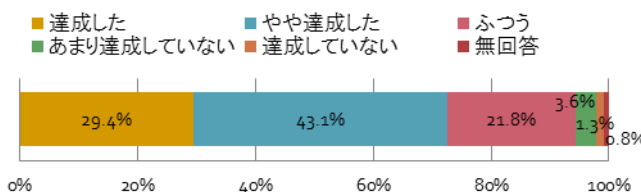
III-4. この授業の予習復習等、授業以外での学習に当てた時間(毎週の平均)。

4時間以上	772	7.0%
3~4時間未満	453	4.1%
2~3時間未満	906	8.3%
1~2時間未満	2,581	23.5%
1時間未満	6,142	56.0%
無回答	116	1.1%



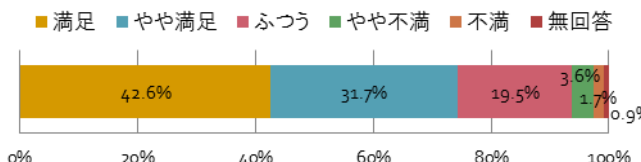
III-7. この授業に対する達成度を示してください。

達成した	3,222	29.4%
やや達成した	4,724	43.1%
ふつう	2,395	21.8%
あまり達成していない	391	3.6%
達成していない	147	1.3%
無回答	91	0.8%



III-8. この授業に対する満足度を示してください。

満足	4,668	42.6%
やや満足	3,476	31.7%
ふつう	2,136	19.5%
やや不満	398	3.6%
不満	189	1.7%
無回答	103	0.9%



2016年度

「学生と授業改善について考えるアンケート」報告書

---

発行

2017年7月

日本女子大学 学部FD委員会

〒112-8681

東京都文京区目白台2丁目8番1号

電話 03(5981)3275

---